

## 空港内従業員の「麻しん（はしか）」感染について

関西国際空港内での事業所において、従業員の「麻しん（はしか）」（以下 麻しん）への感染が発生している事例について、大阪府から昨日（4日）発表されました。昨日時点で32名の空港内従業員が陽性であると発表されました。なお、関西エアポート対策本部調べで、25名が回復しております。

当社では、ホームページやターミナルビル館内におけるポスター掲示などで、お客様に注意喚起を行い、お問い合わせ窓口（電話：072-455-2288、メール：[taisaku@kansai-airports.co.jp](mailto:taisaku@kansai-airports.co.jp)）も開設しております。

また、すでに、空港内事業所に対して、症状がみられる場合の勤務自粛と、医療機関を受診する際の注意点について周知しましたが、引き続き、大阪府泉佐野保健所や関係行政機関と協力し、感染拡大の阻止対策を敷いています。

麻しんが疑われる症状を発症した従業員には、接客業務に従事していた従業員も含まれています。麻しんはウイルスによって起こる感染症で、非常に感染力が強いといわれています。その潜伏期間は10日～12日間程度とされているため、8月17日以降に関西国際空港をご利用されたお客様で、下記の症状があらわれた方は、医療機関にご連絡の上、その指示に従っていただくよう、ホームページ等を通じてお願いしています。

関西エアポート株式会社は、この感染の拡大を最小限にとどめるために、随時お客様に情報を公開して参ります。

麻しんに関する詳しい情報は、厚生労働省のホームページをご参照ください。

<http://www.mhlw.go.jp/qa/kenkou/hashika/index.html>

### 【麻しんの症状】

- 発熱、咳・鼻汁、皮膚の発疹、結膜の充血、口の中の斑など
- 全ての症状が出現するとは限りません。
- 発熱は、一旦下がっても半日から1日後くらいに再び高熱が出ます。

---

### 【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

関西エアポート株式会社  
コーポレートコミュニケーション部 広報グループ  
Tel : 072-455-2201